

衛研第1-54号
平成27年 3月18日

感染症発生動向調査事業
各関係機関の長様

埼玉県衛生研究所長

感染症発生動向調査事業週単位情報の送付について（通知）

このことについて、別添のとおり送付いたします。

担当 埼玉県衛生研究所 感染症疫学情報担当
電話 0493-59-9325
FAX 0493-59-9613
e-mail p5349952@pref.saitama.lg.jp

感染症患者発生情報（週報）

埼玉県内情報 平成 27 年 第 11 週（平成 27 年 3 月 9 日～平成 27 年 3 月 15 日）

今週の注目される疾患

全数把握対象疾患では、一類、二類（結核を除く）感染症の届出はなかった。三類感染症は、細菌性赤痢 1 人、腸管出血性大腸菌感染症 3 人、腸チフス 1 人の届出があった。四類感染症は、A 型肝炎 1 人、デング熱 1 人、レジオネラ症 1 人の届出があった。五類感染症は、アメーバ赤痢 1 人、ウイルス性肝炎 1 人、急性脳炎 2 人、後天性免疫不全症候群 1 人、侵襲性インフルエンザ菌感染症 1 人、梅毒 1 人の届出があった。

定点報告対象疾患では、**A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**(3.35 3.52)の定点当たり報告数は前週より増加し、前年までの同時期と比べ多い状況が続いている。保健所別では、川口(3.80 6.53)保健所管内で大きく増加し、朝霞(4.93)、熊谷(4.78)保健所管内からの報告が多い。**伝染性紅斑**(0.79 0.93)の定点当たり報告数は前週に引き続き増加した。保健所別では、坂戸(0.33 1.33)保健所管内で大きく増加し、春日部(1.85)、川口(1.80)保健所管内からの報告が多い。年齢階級別では、4～6 歳で全体の 56.8%を占めている。**流行性耳下腺炎**(0.52 0.55)の定点当たり報告数は前週と同水準に留まったが、前年の同時期と比べ多い状況にある。保健所別では、加須(2.00 4.40)保健所管内で大きく増加し、春日部(1.54)保健所管内からの報告が多い。**咽頭結膜熱**(0.31 0.36)の定点当たり報告数は前週より増加した。保健所別では、本庄(1.50)、幸手(0.89)、川口(0.80)からの報告が多い。**インフルエンザ**(3.40 3.04)の定点当たり報告数は減少傾向にあるが、全保健所から報告があり、今しばらくは注意が必要である。眼科定点報告対象疾患では、**流行性角結膜炎** 17 人の報告があり、前週(12 人)より増加した。基幹定点報告対象疾患では、**無菌性髄膜炎** 3 人、**マイコプラズマ肺炎** 3 人、**クラミジア肺炎** 3 人、**インフルエンザ(入院)**1 人の報告があった。**感染性胃腸炎(ロタウイルス)**は基幹定点 4 ヲ所から 11 人の報告があり、前週(6 ヲ所から 8 人)より増加した。

<全数把握対象疾患の患者情報>

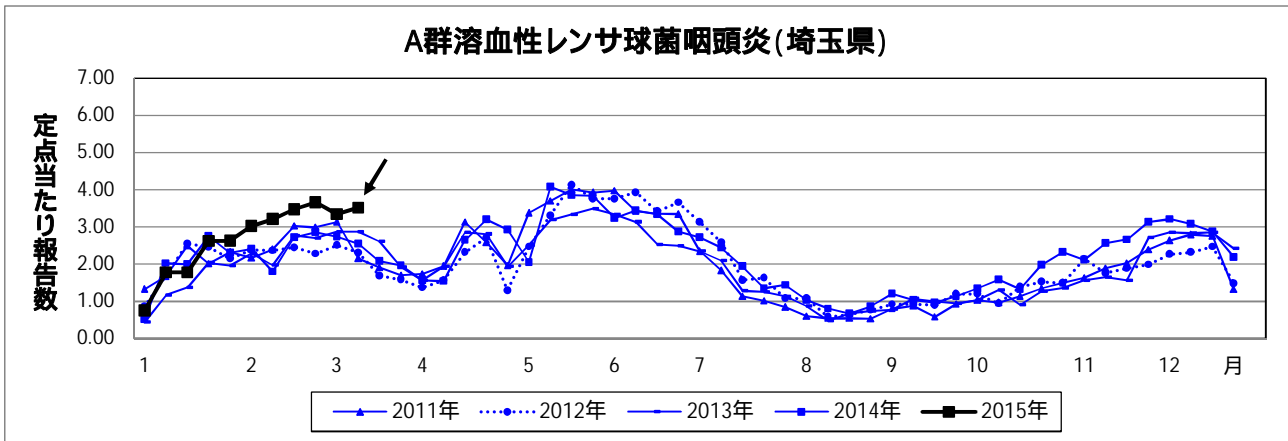
一類感染症	報告なし	
二類感染症	報告なし（結核を除く）	
三類感染症	細菌性赤痢	1人（病原体 <i>S. sonnei</i> ）
	腸管出血性大腸菌感染症	3人（病型 患者 1人、無症状病原体保有者 2人 血清型 026 2人、0157 1人）
	腸チフス	1人（推定感染地域 国外）
四類感染症	A 型肝炎	1人（推定感染地域 国内）
	デング熱	1人（推定感染地域 国外）
	レジオネラ症	1人（病型 肺炎型）
五類感染症	アメーバ赤痢	1人（病型 腸管アメーバ症）
	ウイルス性肝炎	1人（病型 B 型）
	急性脳炎	2人（病原体 ヘルペスウイルス 1人、不明 1人）
	後天性免疫不全症候群	1人（病型 無症状病原体保有者）
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1人
	梅毒	1人（病型 早期顕症 期）

- この情報に関する御質問・御意見等がございましたら、下記まで御連絡ください。
衛生研究所 感染症情報担当者会議(感染症疫学情報担当) TEL: 0493-59-9325 FAX: 0493-59-9613
e-mail: p5349952@pref.saitama.lg.jp URL: <http://www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/index.html>
- 全国の感染症発生動向に関する情報は、国立感染症研究所の感染症疫学センターホームページ
(URL: <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>) で御覧になれます。

注目すべき疾患

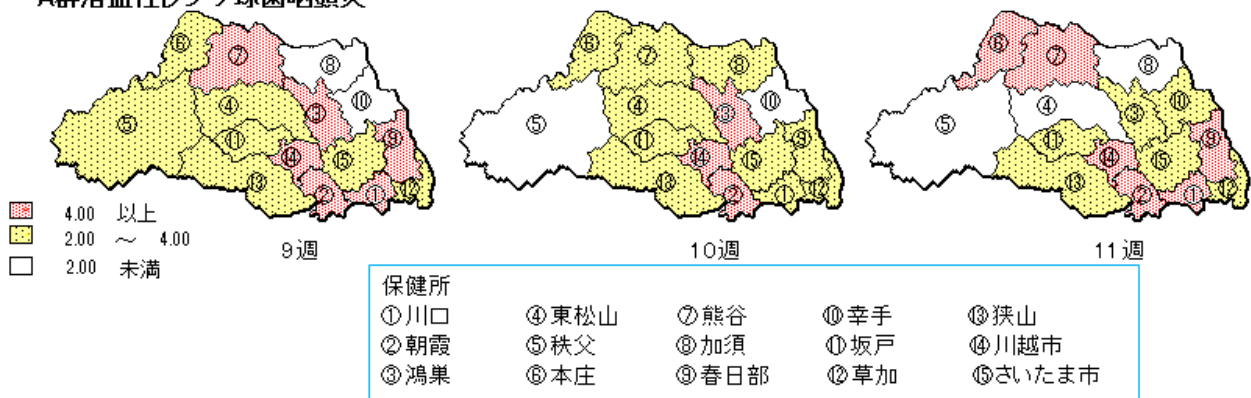
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 -

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は552人の報告があった。定点あたり報告数(3.52)は前週より増加し、前年までの同時期より多い状況が続いている。秩父保健所を除く14保健所管内から報告があり、7保健所管内で前週の定点あたり報告数を上回った。



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎保健所別流行状況

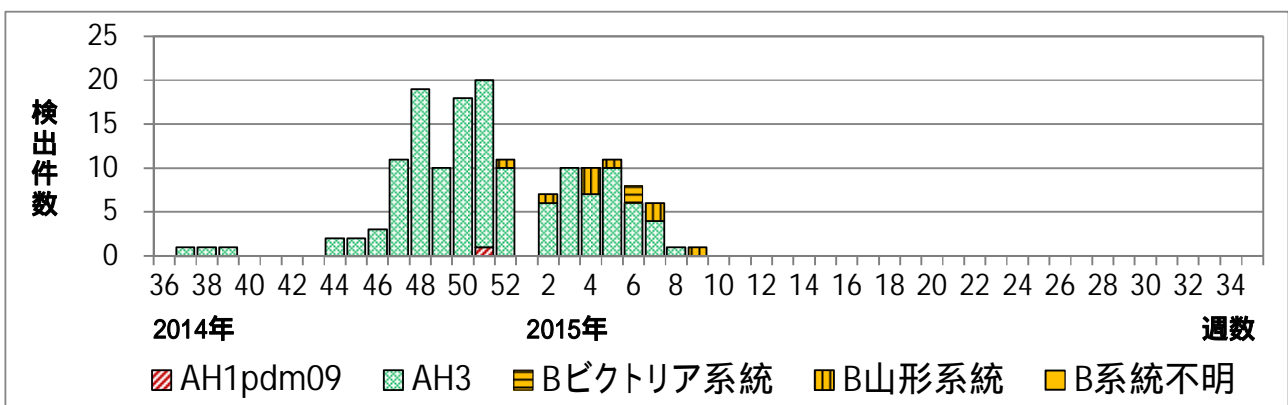
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



- インフルエンザウイルス検出状況 -

前週以降第11週までに新たに検出されたウイルスはなく、9月(第36週)以降の検出は、AH3(A香港)が141件と最も多く、AH1pdm09が1件、B型が11件の計153件である。B型は、山形系統9件、ビクトリア系統2件が前年未以降検出されている。

週別インフルエンザウイルス検出状況



感染症発生状況(全数把握対象疾患)
(第11週)

(2015年 3月 17日 15:00集計)

	今週 届出	累 計	2014年 累計		今週 届出	累 計	2014年 累計
一類感染症							
エボラ出血熱				ペスト			
クリミア・コンゴ出血熱				マールブルグ病			
痘そう				ラッサ熱			
南米出血熱							
二類感染症							
急性灰白髄炎				中東呼吸器症候群(MERS)			
結核*	-	-	1,390	鳥インフルエンザ(H5N1)			
ジフテリア				鳥インフルエンザ(H7N9)			
重症急性呼吸器症候群(SARS)							
三類感染症							
コレラ				腸チフス	1	1	2
細菌性赤痢	1	2	2	パラチフス		1	1
腸管出血性大腸菌感染症	3	9	265				
四類感染症							
E型肝炎		1	12	鳥インフルエンザ(H5N1を除く)			
ウエストナイル熱				ニパウイルス感染症			
A型肝炎	1	4	8	日本紅斑熱			
エキノコックス症				日本脳炎			
黄熱				ハンタウイルス肺症候群			
オウム病		1		Bウイルス病			
オムスク出血熱				鼻疽			
回帰熱				ブルセラ症			1
キャサヌル森林病				ベネズエラウマ脳炎			
Q熱				ヘンドラウイルス感染症			
狂犬病				発しんチフス			
コクシジオイデス症				ボツリヌス症			
サル痘				マラリア			3
重症熱性血小板減少症候群				野兔病			
腎症候性出血熱				ライム病			1
西部ウマ脳炎				リッサウイルス感染症			
ダニ媒介脳炎				リフトバレー熱			
炭疽				類鼻疽			
チクングニア熱				レジオネラ症	1	12	55
つつが虫病			1	レプトスピラ症			
デング熱	1	2	14	ロッキー山紅斑熱			
東部ウマ脳炎							
五類感染症							
アメーバ赤痢	1	9	41	侵襲性肺炎球菌感染症		22	75
ウイルス性肝炎(E型・A型を除く)	1	2	11	水痘*		1	3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症		4	3	先天性風しん症候群			
急性脳炎	2	11	27	梅毒	1	11	51
クリプトスポリジウム症			1	播種性クリプトコックス症		1	4
クロイツフェルト・ヤコブ病		1	6	破傷風			5
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		3	10	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
後天性免疫不全症候群	1	4	45	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	6
ジアルジア症		1	1	風しん		2	9
侵襲性インフルエンザ [†] 菌感染症	1	6	10	麻しん		2	27
侵襲性髄膜炎菌感染症			2	薬剤耐性アシネトバクター感染症		1	2
指定感染症	該当疾患は無し						

水痘* : 患者が入院を要すると認められるものに限る。

ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)再掲	B型	C型	D型	その他
累計	2			

累計は診断日で集計
* 2014年累計は暫定値です。
* 結核は月単位で集計、別に掲載します。

結核患者発生状況(2月分)

2月の報告数は、患者53人、無症状病原体保有者30人、疑似症2人の計85人で前月の92人より減少した。患者で最も多い年齢階級は80歳以上であった。

年齢階級別報告数

平成27年3月18日

この情報は、感染症法に基づく届出について集計したものです。

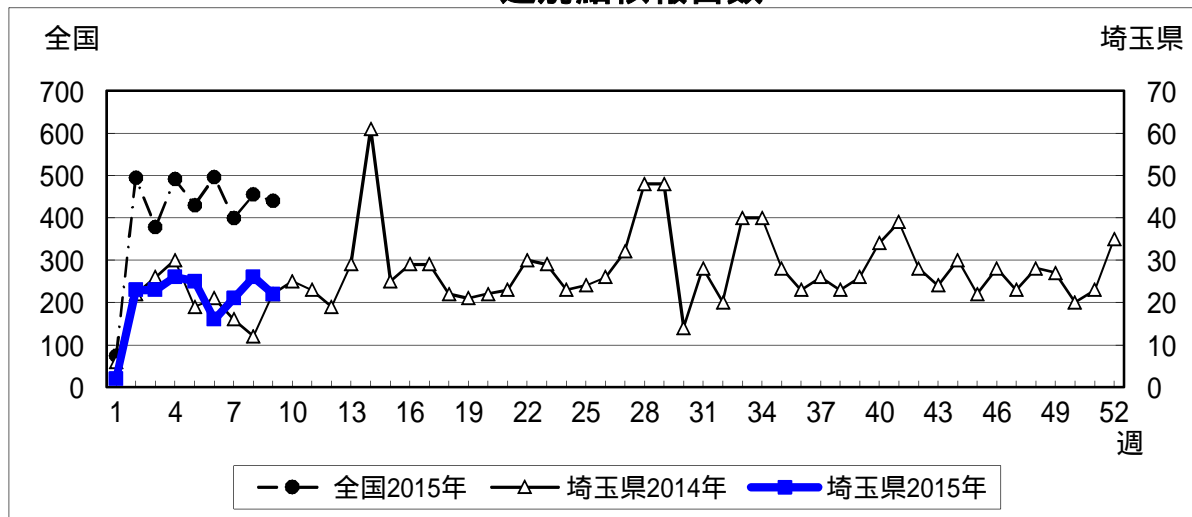
年齢階級 \ 診断類型	患者	無症状 病原体保有者	疑似症	計	
				今月診断分	2015年累計*
0～9歳	1	1	0	2	6
10～19歳	0	1	0	1	1
20～29歳	3	5	0	8	14
30～39歳	4	11	0	15	28
40～49歳	3	4	0	7	15
50～59歳	4	4	1	9	14
60～69歳	11	3	0	14	31
70～79歳	10	0	0	10	27
80歳以上	17	1	1	19	46
計	53	30	2	85	182

3月 17日

15 時集計

*2015年累計:1月からの累積届出数

週別結核報告数



*NESID感染症発生動向調査WISH公開データ

保健所	感染症発生動向調査		週情報		報告患者数		保健所別		平成27年3月9日～平成27年3月15日		イ								
	報告数	定点当たり	咽頭結膜熱	咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎	インフルエンザ
全	746	29	57	552	1,447	105	25	146	90	5	86	-	17	-	3	3	3	11	1
川	3.04	0.18	0.36	3.52	9.22	0.67	0.16	0.93	0.57	0.03	0.55	-	0.41	-	0.30	0.30	0.30	1.10	0.10
朝	75	4	12	98	250	19	-	27	11	-	5	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	3.26	0.27	0.80	6.53	16.67	1.27	-	1.80	0.73	-	0.33	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	68	2	2	69	152	7	4	10	7	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
朝	3.24	0.14	0.14	4.93	10.86	0.50	0.29	0.71	0.50	-	0.64	-	-	-	-	-	-	-	-
朝	43	1	5	45	94	4	-	4	6	-	2	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	2.26	0.08	0.42	3.75	7.83	0.33	-	0.33	0.50	-	0.17	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	26	-	-	9	76	3	-	-	2	-	4	-	-	-	-	1	1	3	-
朝	3.25	-	-	1.80	15.20	0.60	-	-	0.40	-	0.80	-	-	-	1.00	1.00	3.00	-	-
朝	2	-	-	-	10	-	-	-	-	-	1	-	*	-	-	-	-	-	-
朝	0.40	-	-	-	3.33	-	-	-	-	-	0.33	-	*	-	-	-	-	-	-
朝	21	-	6	17	16	1	-	4	2	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-
朝	3.00	-	1.50	4.25	4.00	0.25	-	1.00	0.50	-	0.50	-	1.00	-	-	-	-	-	-
朝	52	2	2	43	92	2	-	4	3	-	4	-	-	4	-	-	-	-	-
朝	3.71	0.22	0.22	4.78	10.22	0.22	-	0.44	0.33	-	0.44	-	2.00	-	-	-	-	-	-
朝	20	1	-	6	19	-	-	5	4	-	22	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	2.22	0.20	-	1.20	3.80	-	-	1.00	0.80	-	4.40	-	-	-	*	*	*	*	*
朝	67	-	8	56	58	14	-	24	18	-	20	-	-	-	1	-	-	3	-
朝	3.35	-	0.62	4.31	4.46	1.08	-	1.85	1.38	-	1.54	-	-	-	1.00	-	-	3.00	-
朝	24	2	8	18	42	15	1	5	5	-	6	-	-	-	-	2	-	-	-
朝	1.71	0.22	0.89	2.00	4.67	1.67	0.11	0.56	0.56	-	0.67	-	-	-	-	2.00	-	-	-
朝	16	2	1	13	44	5	-	8	2	-	1	-	2	-	-	-	-	5	-
朝	1.78	0.33	0.17	2.17	7.33	0.83	-	1.33	0.33	-	0.17	-	2.00	-	-	-	-	5.00	-
朝	58	-	1	26	59	5	-	9	4	-	2	-	1	-	*	*	*	*	*
朝	3.41	-	0.09	2.36	5.36	0.45	-	0.82	0.36	-	0.18	-	0.33	-	*	*	*	*	*
朝	111	8	5	44	154	4	5	6	5	-	4	-	5	-	-	-	-	1	-
朝	4.27	0.47	0.29	2.59	9.06	0.24	0.29	0.35	0.29	-	0.24	-	1.00	-	-	-	-	1.00	-
朝	46	1	3	32	114	5	-	4	-	-	1	-	1	-	*	*	*	*	*
朝	3.54	0.13	0.38	4.00	14.25	0.63	-	0.50	-	-	0.13	-	0.50	-	*	*	*	*	*
朝	117	6	4	76	267	21	15	36	21	-	3	-	3	-	1	-	-	2	1
朝	2.93	0.23	0.15	2.92	10.27	0.81	0.58	1.38	0.81	-	0.12	-	0.38	-	1.00	-	-	2.00	1.00

(- : 0.00) #1 鳥インフルエンザを除く #2 真菌性を含む #3 オウム病を除く 3月 17日 13:00集計

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 (第11週 平成27年3月9日～平成27年3月15日)

	合計																				
	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
インフルエンザ #1	746	-	7	20	18	30	28	38	67	46	41	56	150	63	26	47	51	27	12	9	10
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
RSウイルス感染症	29	9	8	7	1	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	57	1	3	14	8	7	10	6	2	2	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	552	-	1	5	25	37	94	88	85	53	45	45	60	2	12	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	1,447	7	44	124	136	142	161	126	142	90	97	66	146	23	143	-	-	-	-	-	-
水痘	105	3	2	5	12	19	21	15	5	11	7	2	3	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	25	-	-	2	4	2	5	3	4	4	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	146	-	1	7	4	13	28	28	27	9	11	9	6	1	2	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	90	1	37	41	9	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	5	-	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	86	-	-	3	4	10	12	7	12	9	10	7	9	-	3	-	-	-	-	-	-
合計	-6ヵ月	12ヵ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	17	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	5	2	1	3	2	-
合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳～					
細菌性髄膜炎 #2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	3	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎 #3	3	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	11	2	7	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(入院)インフルエンザ	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

表中の数値は各定点からの報告数(- : 0)

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

全国・関東情報 第9週

(2月23日～3月1日)

平成27年3月18日

インフルエンザの定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は高知県(14.15)、福井県(10.81)、新潟県(10.38)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は313例と前週と比較して減少した。都道府県別では44都道府県から報告があり、年齢別では0歳(15例)、1～9歳(58例)、10代(7例)、20代(3例)、30代(4例)、40代(5例)、50代(12例)、60代(28例)、70代(51例)、80歳以上(130例)であった。

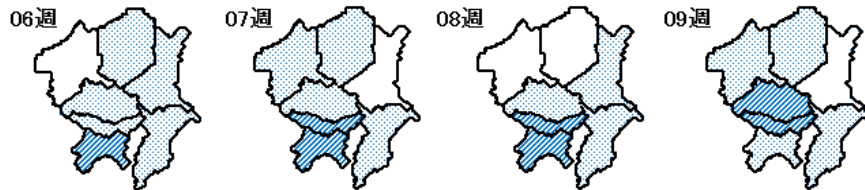
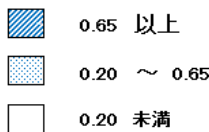
RSウイルス感染症の報告数は1,402例と第5週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約73%を占めている。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(1.00)、宮崎県(0.64)、北海道(0.55)、石川県(0.55)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は鳥取県(7.26)、石川県(6.45)、山形県(5.67)である。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は佐賀県(13.22)、福井県(12.45)、大分県(12.14)である。水痘の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(1.00)、山形県(0.87)、大分県(0.78)である。手足口病の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山形県(2.13)、沖縄県(2.06)、長崎県(1.64)である。伝染性紅斑の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は石川県(0.79)、東京都(0.74)、宮城県(0.67)、埼玉県(0.67)である。百日咳の定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位2位は鳥取県(0.05)、鹿児島県(0.05)、大分県(0.03)、沖縄県(0.03)である。

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は富山県(1.00)、長野県(0.73)、石川県(0.60)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)の定点当たり報告数は減少した。38都道府県から144例報告があり、年齢別では0歳(19例)、1～4歳(110例)、5～9歳(12例)、20代(1例)、40代(1例)、50代(1例)であった。

<関東情報>

伝染性紅斑の定点当たり報告数は、東京都(0.74)、埼玉県(0.67)からの報告が多い。

伝染性紅斑



平成27年 09週

	全国	関東地域	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
インフルエンザ #1	報告数 29,059 定点当たり 5.88	7,591 5.05	561 4.68	452 5.95	544 5.55	1,136 4.64	1,651 7.71	1,694 4.07	1,553 4.66
RSウイルス感染症	報告数 1,402 定点当たり 0.44	193 0.20	6 0.08	6 0.13	26 0.43	44 0.28	21 0.16	64 0.24	26 0.13
咽頭結膜熱	報告数 909 定点当たり 0.29	213 0.23	19 0.25	3 0.06	15 0.25	46 0.29	42 0.31	56 0.21	32 0.15
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 9,475 定点当たり 3.01	2,962 3.14	228 3.04	86 1.79	186 3.10	572 3.67	491 3.66	812 3.09	587 2.84
感染性胃腸炎	報告数 24,615 定点当たり 7.81	7,448 7.90	512 6.83	205 4.27	383 6.38	1,451 9.30	914 6.82	2,354 8.95	1,629 7.87
水痘	報告数 1,416 定点当たり 0.45	440 0.47	19 0.25	16 0.33	17 0.28	78 0.50	58 0.43	125 0.48	127 0.61
手足口病	報告数 1,108 定点当たり 0.35	105 0.11	16 0.21	5 0.10	24 0.40	13 0.08	7 0.05	26 0.10	14 0.07
伝染性紅斑	報告数 1,058 定点当たり 0.34	528 0.56	12 0.16	11 0.23	21 0.35	105 0.67	58 0.43	194 0.74	127 0.61
突発性発しん	報告数 1,436 定点当たり 0.46	443 0.47	20 0.27	26 0.54	27 0.45	87 0.56	54 0.40	128 0.49	101 0.49
百日咳	報告数 20 定点当たり 0.01	4 0.00	-	1 0.02	1 0.02	-	-	1 0.00	1 0.00
ヘルパンギーナ	報告数 58 定点当たり 0.02	11 0.01	2 0.03	-	2 0.03	1 0.01	-	2 0.01	4 0.02
流行性耳下腺炎	報告数 886 定点当たり 0.28	240 0.25	17 0.23	3 0.06	9 0.15	55 0.35	55 0.41	65 0.25	36 0.17
急性出血性結膜炎	報告数 6 定点当たり 0.01	4 0.02	-	3 0.25	-	1 0.02	-	-	-
流行性角結膜炎	報告数 293 定点当たり 0.43	105 0.52	13 0.76	-	18 1.29	13 0.32	19 0.56	12 0.31	30 0.67
細菌性髄膜炎 #2	報告数 4 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	-	1 0.04	-
無菌性髄膜炎	報告数 15 定点当たり 0.03	3 0.04	-	-	1 0.13	1 0.10	-	1 0.04	-
マイコプラズマ肺炎	報告数 110 定点当たり 0.23	22 0.27	-	2 0.29	4 0.50	2 0.20	2 0.22	12 0.48	-
クラミジア肺炎 #3	報告数 6 定点当たり 0.01	1 0.01	-	-	-	-	1 0.11	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数 144 定点当たり 0.30	29 0.35	4 0.31	4 0.57	8 1.00	5 0.50	1 0.11	2 0.08	5 0.50

#1 鳥インフルエンザを除く

#2 真菌性を含む

#3 オウム病を除く

(-:0.00)

ホーム > 県政情報・統計 > 県概要 > 組織案内 > 保健医療部 > 保健医療部の地域機関 > 衛生研究所 > 感染症情報センター > 感染症の流行情報 > 感染症発生動向調査 > 感染症発生動向調査 2015年 > 感染症の流行状況 2015年 第11週

感染症発生動向調査 2015年

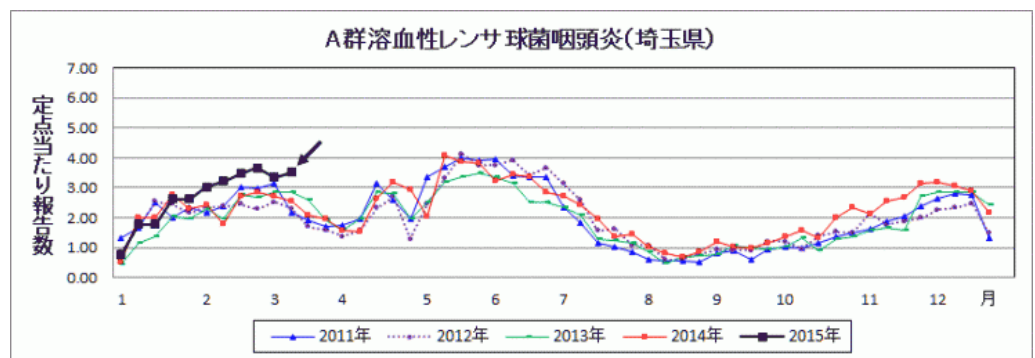
- [感染症の流行状況 2015年 第1週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第2週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第3週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第4週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第5週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第6週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第7週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第8週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第9週](#)
- [感染症の流行状況 2015年 第10週](#)

感染症の流行状況 2015年 第11週

2015年第11週（平成27年3月9日～3月15日）の要点 平成27年3月18日

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は、前週より増加し、多い状況が続いています。外出後の手洗い・うがいとともに、十分な休養をとるよう心がけてください。また、お子さんの体調がすぐれない時は、医療機関に電話で相談の上、早目に受診してください。

- [インフルエンザに関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [麻疹に関する情報はこちらをご覧ください。](#)
- [風しんに関する情報はこちらをご覧ください。](#)



感染症流行状況

疾患	推移	流行状況	疾患	推移	流行状況
インフルエンザ			伝染性紅斑		
RSウイルス感染症			突発性発しん		
咽頭結膜熱			百日咳		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			ヘルパンギーナ		
感染性胃腸炎			流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		
水痘（みずぼうそう）			急性出血性結膜炎		
手足口病			流行性角結膜炎		

*1. 推移、流行状況は、県内全域の傾向です。 *2. 推移は2週間前からの傾向を示します。（ :増減無し、 :増加、 :減少） *3. 流行状況は今週の流行を示します。（小さい、 、 大きい）

疾患名をクリックすると、各疾患の流行状況のグラフがご覧いただけます。

全国の感染症発生動向状況については、国立感染症研究所のホームページ「[感染症疫学センター](#)」(アドレス <http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html>)でご覧になれます。

この情報は毎週水曜日に更新する予定です。ただし、祝日等により変更の場合もあります。



埼玉県のマスコット コバトン

お問い合わせ

[保健医療部 衛生研究所](#) 感染症疫学情報担当

郵便番号355-0133 埼玉県比企郡吉見町江和井410番地1 埼玉県衛生研究所

電話：0493-59-9325

ファックス：0493-59-9613

▶ お問い合わせフォーム